

東京都立小石川中等教育学校

【社会参加(人間と社会)】年間授業計画

教科:(総合的な学習の時間)科目:(社会参加(人間と社会)) 対象:(第4学年 A組～ D組)

使用教科書:「人間と社会」(東京都教育委員会)

使用教材:

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4 月	①社会参加とは ②第1章「人間関係を築く」	①奉仕に対する基礎知識をもつ。 ②第1章「人間関係を築く」に基づき、よりよい人間関係を築くことについて考えさせる。 ③社会参加に関する意義を考え、活動への心構えを知る。	興味関心 知識 思考力 ワークシート	2
5 月	①昨年の体験先の説明 ②本年度体験先のリスト配布	①体験先について知り、自己の課題と体験での目標を具体化していく。 ・児童福祉分野の活動、教育の分野の活動 ・国際交流・協力分野の活動 ・町づくり分野・地域安全分野の活動 ②自らの体験活動プランの作成 各自の体験先について具体的に知る。	知識 思考力 ワークシート	2
6 月	①第2章「学ぶことの意義」 ②自らの体験活動プラン決定	①第2章「学ぶことの意義」に基づき、人生を通じて主体的に学び続けようとする力を育成する。 ②体験の目標を個人やグループで決める。	知識 思考力 ワークシート	2
7 月	①第3章「働くことの意義」 ②体験活動についての説明会	①第3章「働くことの意義」に基づき、人は社会に参加し、社会の一員として経済的に自立した生活を営み、同時に社会に貢献していることに気付かせる。 ②各体験先での生徒への注意事項の確認と、社会でのマナー（挨拶、服装、時間管理）等について理解する。 自らが社会の一員であることを理解する。 体験先を決定し、各自の目的意識を高める。	知識 思考力 ワークシート	2

東京都立小石川中等教育学校

【社会参加(人間と社会)】年間授業計画

教科:(総合的な学習の時間)科目:(社会参加(人間と社会)) 対象:(第4学年 A組～ D組)

使用教科書:「人間と社会」(東京都教育委員会)

使用教材:

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8・9月	①社会体験活動 (連携先の小学校での行事運営の手伝い、小学校での夏休み中の水泳指導の手伝い、学習指導の手伝い、器楽指導など。文京区社会福祉協議会主催の市民ボランティア祭りへの参加と手伝い、老人福祉施設での手伝い、都立六義園の清掃活動への参加など)	①夏期休業中に各自計16時間分の社会体験を行う。 その体験をもとに、自ら課題を解決できたか、自己評価、他者からの相互評価、連携先からの評価を確認し、さらに考えたことを報告書にまとめ、これまでの活動をふり返る。	知識 思考力 ワークシート	16
10月	①社会体験の報告 ②講師による講演 ③4章「役割と責任を考える」 ④第5章「マナーと社会ルールについて考える」 ⑤第6章「ネット時代」	①社会体験活動の成果および講演会・ワークショップの内容をふまえて報告書を完成させていく。 ②何を大切にして生きるか、社会の一員としてどのように貢献していくかを考えさせる。 ③第4章「役割と責任を考える」に基づき、役割や責任に対する理解を深める。 ④第5章「マナーと社会ルールについて考える」に基づき、社会の一員としてマナーやルールを考え、その重要性を気付かせる。 ⑤第6章「ネット時代」に基づき、自己を理解し、自己を管理する能力を育成する。	知識 思考力 ワークシート	4
11月	①第7章「選択し、行動する」 ②講師による講演 ③第8章「チームで活動することの意義」	①教科書第7章「選択し、行動する」に基づき、自らの意志で選択し、行動するということについて考えさせる。 ②何を大切にして生きるか、社会の一員としてどのように貢献していくかを考えさせる。 ③第8章「チームで活動することの意義」に基づき、チームで活動することの意義を考えを深め、チームで力を発揮する能力を育成させる。	知識 思考力 ワークシート	6
12月	①講師を招いての講演 ②第9章「人生とワーク・ライフ・バランス」	①何を大切にして生きるか、社会の一員としてどのように貢献していくかを考えさせる。 ②第9章「人生とワーク・ライフ・バランス」に基づき、自己と他者の生き方、そして自立および忍耐の道徳的価値を尊重する態度を育成する。	知識 思考力 ワークシート	3

東京都立小石川中等教育学校

【社会参加(人間と社会)】年間授業計画

教科:(総合的な学習の時間)科目:(社会参加(人間と社会)) 対象:(第 4学年 A組～ D組)

使用教科書:「人間と社会」(東京都教育委員会)

使用教材:

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	①講師を招いての講演	①何を大切に生きていくか、社会の一員としてどのように貢献していくかを考えさせる。	知識 思考力 ワークシート	2
2 月				
3 月				